

JHF 正会員の皆様

JHF 発第 23-004 号
2023 年 1 月 16 日
公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟
会長 安田英二郎
(公印省略)

2023 年度 JHF 教員検定員推薦のお願い

拝啓

寒中の候、皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は当連盟の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
現 JHF 教員検定員 18 名の皆様には 2020 年度よりご活躍いただいておりますが、2023 年 3 月末にて 3 年の任期が終了します。新たな任期に向けて、2023 年 3 月に「2023 年教員検定員研修検定会」を開催します。つきましては、各都道府県連盟にて下記の要領でご推薦をお願いいたします。

敬具

記

JHF 技能証規程 P-3-2、H-3-2 により **教員検定員研修検定会**を実施します。教員検定員として積極的に活動できる方の推薦をお願いいたします。

教員検定員制度は以下の目的を達成するために設けられました

- 1 全国各地で教員検定・助教員検定が受験できる環境づくり。
- 2 全国各地で開催される教員、助教員の更新講習会、安全セミナーの講師を行う。
- 3 安全性委員会の事故調査員として事故調査を行う。

この資格は、全国各地においてハング・パラグライディングの健全な発展と安全確保、技能レベルの標準化など、指導的役割を担う方を認定する重要なものです。しかしながら、活動実績が非常に少ない方も散見されますので、次期検定員には積極的に活動できる方を推薦いただきますようお願いいたします。以下の要件を満たす適切な人材をご推薦ください。なお、同一都道府県連盟から 2 名までの枠は 2020 年度より撤廃しております。

- ・教員・助教員を指導できる人格を備え、技能・知識が優れていること
- ・模範となる飛行演技ができること。実技試験において、デモンストレーター(お手本)としての技量を評価します。
- ・JHF 教員としての活動実績・経験が豊富なこと(教員/検定員としての活動実績、技能証発行数、事故報告提出実績、その他事業への参加等)

本検定会は、申し込みいただいた方の中から、教員検定員対象者を選考した上で研修・検定を行い、教員・スクール事業委員会が可否の判定をします。選考のための情報が少ない場合、受検希望者や関係者の方へ教員スクール事業委員会が確認させていただく場合もございますので、ご協力をお願いいたします。

応募資格：

1. 2023年1月1日時点で、満25歳以上で教員技能証を取得して満3年以上を経過していること
2. フライヤー登録が有効であること
3. 住民票所在地の都道府県連盟の推薦を受けること
4. 有効な普通救急救命講習終了証または日赤救急法一般講習受講証を有すること（申込書にコピー添付）

*受講していない方は年度内に受講をお願いします。受講証明をご提出いただくまでは教員検定員証は保留とさせていただきます。

募集方法：都道府県連盟への案内。現行検定員への案内。JHF ウェブサイトでの告示。

募集人数：20名程度

※実技・学科・教習実技の検定結果により不合格となる可能性もあります。

※同一都道府県連盟から2名の枠は撤廃します。

※申込者の中から研修検定会への参加者を選考いたします。

研修受講費用： 受検者：10,000円
聴講者（パイロット証以上保持者）：実費をご負担ください

●申込締切

2023年1月25日（水）（当日消印有効）

●教員検定員研修検定会 開催要項

日程：2023/3/2（木）～3/3（金）2日間

（3/2 8:00 受付開始 9:30 開始。3/3 16:00 解散予定）

場所：スカイ朝霧 静岡県富士宮市麓499

<http://www.skyasa.com/> Tel: 0544-52-0304

カリキュラム（気象条件により、飛行実技検定の順番が前後する可能性があります）

※日程短縮のため、講義の一部を事前にオンラインで実施します。オンライン講義の日程は事前に通知します。

- ①スポーツ協会新テキスト（レファレンスブック）解説。コーチング理論、保険、法律
- ②事故分析と対策
- ③リスクマネジメント
- ④レスキューパラシュート
- ⑤実技検定のビデオを用いた、検定基準のすり合わせ
- ⑥教員・助教員更新講習会の実施手順
- ⑦特別講義（外部講師を招いて実施）
- ⑧ディスカッション（テーマ：教員のスキルアップの機会/A級教員のような、制限つきで指導できる制度/スクールのない地域に情報伝達する方法/保留にする場合に本人と話し理解を得る手順/教員検定員の安全セミナー実施義務づけ（オンラインも可）/JHF標準の教員養成カリキュラム 等）

・教習実技検定

・学科検定

・飛行実技検定

1) 上級タンデム検定の「ソロ ショートフライト」と同一の内容・判定基準の実技検定

2) 上級タンデム検定の「ソロ 高高度フライト」と同一の内容・判定基準の実技検定

※上級タンデム採点表に基づいて判定する。

添付： 教員検定員推薦書

2023年教員検定員研修検定会 実技検定について

以上